



大阪視覚障害ゴルフアース協会 編集部

2018年3月発行 No. 40

(平成30年)

OBGかわらばん

～～昨年10月にOBGの記事が点字毎日に掲載されました。その記事を書かれた三角真理（みすみ まり）編集長の取材レポートをご紹介します。～～

◆三角真理（みすみ まり）編集長の取材レポート◆

視覚障害者の方たちが、ゴルフを楽しんでいらっしやると聞きました。
ゴルフは私も1回だけやったことがあります、当てるのさえ難しくて、それきり……。

みなさん、どんなふうになさっているのでしょうか。大阪や兵庫のゴルフ好きが集まる「大阪視覚障害ゴルフアース協会」の打ちっぱなしの練習を見させていただきました。中高年の皆さんが、無理のないペースと、楽しい会話で楽しんでいました。

【「点字毎日」編集長・三角真理（みすみ まり）】

9月のある平日のお昼過ぎです。大阪市のJR大正駅前のバス停から皆さん、バスに乗って行くというので、私もそこに行きました。白杖（はくじょう）を持つ人や盲導犬を連れた人たちが、ちらほら列に並んでいます。

私は事務担当のボランティア、上山隆義さんと一緒にさせていただきます。

練習場に着きました。私は「打ちっぱなし」のゴルフ場に来たのは初めて。「普段着」で来られる感じです。本格的なゴルフ場は、クラブハウスがホテルのようで、身構えることができましたから。

この打ちっぱなし練習場は、45球で500円。会のほとんどの参加者は90球ほどを買っているようです。打つ場所は2階建てになっていて、1階にずらりと一直線に約40人、2階にも同じように40人ほどが並んで打てるようになっています。

あれ？通路の隅で盲導犬ユノちゃんを連れた竹田武夫さんが立ち止まっています。ユノちゃんのトイレタイムです。ユノちゃんの腰にビニール袋をつけてやって、「ワン、ツー」と指示。ユノちゃん、下半身を落として、シャー。これで、「パートナー」もスタンバイOK。

上山さんが、参加者の点呼をとります。視覚障害のメンバーと、プレーを助けるボランティアの組み合わせを上山さんが発表します。準備完了。そして、14人が打席に広がりました。打席のすぐ後ろに小さなテーブルと椅子があるので、そこに荷物を置いて「ここは使用中」という印にします。

ところで2階建て電車やバスに乗る機会があったら、2階に乗りたいと思うように、打ちっ放しでも、2階の方が気持ちいいから、2階なのですか？「いいえ、2階の方がすいているからです」と上山さん。ゴルファーが好むのは、グリーンに出たときと同じ条件の1階。でも、会としては混み合う場所を避けるために2階の打席を使うそうです。

パーン、パーン……。早速、鋭い音が響きはじまりました。打ちたくてウズウズしていた会員さんの思いまで含んでいそう。

そんな音に動じないのは手前のグループです。ボランティアの藤岡俊久さんがグループの4人に「準備体操しますよー！」と声をかけます。そういえば、海やスケートなどに行くと、その場の雰囲気飲まれて、すぐに泳いだり、滑ろうとしてしまうのですが、それはけがのもと。

藤岡さんは体操のお手本を見せ、言葉で説明しながらすすめます。向こうからパーン、パーンと打つ音が聞こえます。それでも、藤岡グループの4人から「早く打ちたいです」という声や表情はありません。そこが年配の方のいいところ。落ち着いています。



「右肩が痛いねんけどなあ」と肩を回しながらぼやく平井啓一さん。「どうやるって？」と体操の仕方がわからなくなると、後ろで見守っていた松本景子さんが「ここを、こう伸ばして」と助けます。松本さんは、平井さんのガイドヘルパー。「(ガイドヘルパーが)どこまでやっていいかってことはあるんやけどね」と悩ましげ。別の取材でも、ガイドヘルパーさんから同様の声を聞いたことがあります。本来は誘導や外出先での代読、代筆などが仕事です

が、そうは行っても行った先々で手助けしたくなることはいろいろ出てきます。知らん顔するなんて、寂しすぎます。

さて、藤岡グループもいよいよ打ち始めます。
一番端の生長善治郎さん。相棒の盲導犬、ボナールは後ろの椅子の近くでスヤスヤ。パン！「ナイスショット、25ヤード！」。パン！「ひじ真っすぐ！」。1打ごとに藤岡さんからアドバイスや飛距離の声が出ます。「ハイ！」と生長さんのよい返事。「家内に水泳もさせられているんですけど、水泳は必死になって練習しないといけないんやけど、ゴルフはハードにやらなくてもええでしょ？『ゴルフやってる』っていうの、かっこいい響きやと思って」と8年続けているそうです。



隣の打席は竹田さん。鋭い音を響かせ、快調。よく飛びますねえと声をかけると「50ヤードでいこうか？」と飛ばす距離を決めて打って見せてくれました。

パシッ！「50」の看板の手前で落ちた後、ほぼ「50」でストップ。「ゴルフは半世紀やっているし、ボールは白いから、なんとか（足元にあるのはわかる）ね。この10年で視力は落ちて、“登別温泉状態”よ」。皆さん、明るい。

さっき、おしっこを済ませたユノちゃんが後ろでよく寝ています。「この子が『まっすぐ（飛んだ）！』とか『どのぐらい（飛んだ）』とか言ってくれたら、ええんやけどね」

藤岡さんは、一人一人を見るのに忙しいです。平井さんのところでは、自分が打席に入りました。そして「私の肩を後ろから持って」と平井さんに声をかけました。肩の動き、動かすスピードを伝えるため、触って動きを感じてもらおうのです。



一番力強いスイングなのは、向こうの方で打っている坂本信雄さん。ドライバーでしょうか。

バシュー！音が全然違います。さらに目を引いたのが、坂本さんのために、1球ずつボールを置いては、数歩後ずさりし、飛んだ距離を見て、伝えている女性。

妻の葉子さんです。「私は下手っぴ。でも一緒にコースを回りたと思っています」

自分の練習が終わったら、三々五々解散です。

でも、上山さんだけは最後の人まで見守ります。ゴルフ歴、数十年ですが、会では、する余裕はありません。縁の下の力持ち、ここにあり、です。

～～ここまでが、三角真理（みすみ まり）編集長の取材レポートです。～～

◆第14回通常総会の報告◆

特定非営利活動法人 大阪視覚障害ゴルフアーズ協会 第14回通常総会の開催

□開催日時：平成29年5月30日（火）午前10時～11時

□開催場所：日本ライトハウス情報文化センター 4階401号室

□出席者数：63名（委任状出席者41名を含む）

□現在の正会員数：総数81名（ブラインド会員33名、ボランティア会員48名）

【議長の選任】

平井 啓一が満場一致で議長に選任された

【議事録署名人の選任】

鎌田 修と曾余田 兼代が満場一致で議事録署名人に選任された

【審議事案及び議決事案】

第1号議案 平成28年度事業報告書

第2号議案 平成28年度活動計算書

第3号議案 平成28年度貸借対照表

第4号議案 平成28年度財産目録

平成28年度事業及び決算監査報告

第5号議案 平成29年度事業計画書（案）

第6号議案 平成29年度活動予算書（案）

第7号議案 定款の変更 第2条（事務所）

【その他報告事項】

（1）第13回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会開催

（2）平成29年度枚方市NPO活動応援基金補助事業補助金交付決定

【議事の経過概要及びその結果】

第1号議案から第7号議案について、予め全員に配付されている議案書について、それぞれ担当理事が読み上げた。

次に、監事から事業及び決算について綿密かつ詳細に監査したところ全て適正、かつ正確に

処理されていたことを確認したとの報告があった。

議長は審議を求めた後、承認を図ったところ全員異議なく第1号議案から第7号議案は承認された。

最後に、その他事項（1）及び（2）について担当理事から報告があった。

議長は、以上をもって特定非営利活動法人大阪視覚障害ゴルファーズ協会第14回通常総会の全ての議案審議を終了した旨を述べ、閉会を宣した。

【議事録の保管】

議長及び議事録署名人2名が記名押印して、議事録を事務担当理事にて保管する。

◆2017年度 各大会の報告◆

☆第13回ブラインドゴルファー競技大会

※この大会は枚方市のNPO活動応援基金の補助金を活用しています。



実施日：平成29年4月19日（水）

場所：樟葉パブリックゴルフコース

参加人数：50名（全盲6名、弱視17名、ボランティア27名）

【上位入賞者】

※数字は左からアウト、イン、グロス、ハンデ、ネット（ダブルペリア方式）

<全盲クラス>

| | | | | | | |
|-----|-------|----|----|-----|-------|-------|
| 優勝 | 恵坂 弘昌 | 72 | 77 | 149 | 66.96 | 82.04 |
| 準優勝 | 木本 敏博 | 58 | 68 | 126 | 43.83 | 82.17 |
| 第3位 | 坂本 信雄 | 73 | 60 | 133 | 49.91 | 83.09 |

<弱視クラス>

| | | | | | | |
|-----|-------|----|----|-----|-------|-------|
| 優勝 | 檜原 隆 | 53 | 51 | 104 | 29.22 | 74.78 |
| 準優勝 | 河村 宗治 | 61 | 54 | 115 | 40.17 | 74.83 |
| 第3位 | 橋本 富雄 | 59 | 62 | 121 | 45.04 | 75.96 |

☆第14回ボランティア会員親睦ゴルフ大会

実施日：平成29年6月7日（水）

場所：樟葉パブリックゴルフコース

参加人数：15名

【上位入賞者】

※数字は左からアウト、イン、グロス、ハンデ、ネット（ダブルペリア方式）

| | | | | | |
|------------|----|----|----|-------|-------|
| 優勝 丸谷 譲 | 42 | 40 | 82 | 9.74 | 72.26 |
| 準優勝 尾方 謙之 | 42 | 47 | 89 | 15.83 | 73.17 |
| 第3位 下久保 清隆 | 44 | 48 | 92 | 18.26 | 73.74 |

～～ここからは、優勝された丸谷さんのコメントです。

私たちブラインドプレーヤーへのアドバイスも書いてくれていますので、
みなさん、参考に練習してみてくださいね！～～

丸谷 譲

OBGボランティア会員親睦大会（2017年6月7日くずはゴルフ場）

当日は15名にてOBGボランティア会員親睦ゴルフコンペが実施されました。
結果、私（丸谷）が82のスコアで幸運に恵まれ、優勝することができました。

スコア：アウト42（パット数17）

イン40（パット数15）

橋本会長から景品を戴きました更に家族がとってもおいしいと好評でした。

現在も継続して、各ショット毎に満足感を高めて行きたいと練習をしています。

ブラインド会員様と練習時並びに同行プレー時等の問い合わせに対して、適切な判断が出来るように身につけたいと思っています。

【身につけたいワンポイント】

ショートゲーム攻略法

アプローチとパッティングがスコアを大きく左右する。

- ① パッティングがスコアの40%を占める。
- ② パターヘッドの水平移動が方向性を安定させる。

打ち出しの方向とヘッドの進行方向を一致させる。

自宅練習例 45cm×200cmの台所用マット並びにじゅうたんを使用、カップの代わりに竹の筒（リレー用バトンのようなもの）を置き、距離感、強弱、等を音で確認しながら練習しています。

バンカーの脱出攻略

- ① サンドウェッジはバンカーショットを優しくするために考案されたもの、それを意識的に活用しましょう。
- ② ボールを上げようとしない、クラブがボールを上げてくれる。
- ③ ボールの1個か2個分後にドンと打ち込みクラブショットをする。
- ④ ボールを上からドンと落としてショットすると、バウンスが効いてボールは脱出してくれます。

アプローチ

『ソールを使う打ち方』『フェースを使う打ち方』をマスターすれば攻め方が身につく。

30ヤードを完全マスター

- ① 手の動きを使わずにお腹を回してクラブを振る。
- ② 手の動きは最小、身体の動きは最大に
- ③ 両手ひじを身体につけグリップエンドをヘソに付けてクラブが水平に（9時⇔3時）に到達するまでお腹を回す。
（手を使わずお腹を大きく回すことがカギです）
- ④ まず、地面に当てて滑らせて打つ感覚を掴む。

トン・コツ…時間差音

T) トン（ソールが地面にぶつかったトンの音）

K) コツ（リーディングエッジがボールにぶつかるコツの音）

トンコツショット。

30ヤード→40～50ヤードへ

さらに手首をコックすることにより、距離アップを図る。S→A→P→9～8等

自分が得意とする距離並びにクラブを増やして行きましょう。

以上

～～丸谷さん、優勝おめでとうございます！

また、ワンポイントアドバイスもありがとうございます。

トンコツショットが打てるように練習してみまーす。～～

☆第13回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会

※この大会は枚方市のNPO活動応援基金の補助金を活用しています。

実施日：平成29年10月19日（木）

場所：樟葉パブリックゴルフコース

参加人数：124名（全盲6名、弱視26名、一般49名、ボランティア43名）



【上位入賞者】

※数字は左からアウト、イン、グロス、ハンデ、ネット（ダブルペリア方式）

<全盲クラス>

優勝 木本 敏博（OBG）

74 81 155 70.61 84.39

準優勝 光沢 毅（長野県）

63 66 129 43.83 85.17

第3位 黒木 広文（宮崎県）

58 57 115 29.22 85.78



<弱視クラス>

優勝 檜原 隆（OBG）

57 65 122 41.39 80.61

準優勝 竹田 武夫（OBG）

60 63 123 41.39 81.61

第3位 上坂 喜幸（OBG）

53 66 119 36.52 82.48



<一般クラス>

| | | | | | | |
|-----|-------|----|----|----|-------|-------|
| 優勝 | 澤田 宗樹 | 44 | 45 | 89 | 17.04 | 71.96 |
| 準優勝 | 有山 茂 | 41 | 47 | 88 | 15.83 | 72.17 |
| 第3位 | 湯川 洵 | 44 | 54 | 98 | 25.57 | 72.43 |

～～ここからは、全盲クラスで優勝された木本さんのコメントです。～～

O B G会員の皆さま、京都の木本 敏博です。

日頃は事務局の皆さんやボランティアの方々には、いつもお世話になり感謝いたしております。また、くずはゴルフ場での練習ラウンドでは、多数のブラインドゴルファーの皆さんと交友を深めながら、一緒に楽しくプレーさせていただき、ありがとうございます。

さて、昨年10月19日（木）第13回大阪視覚障害者親睦ゴルフ大会に際しましては、事務局役員の方々やボランティアの方々には早くから準備していただき、ありがとうございました。当日は、あいにくの雨でしたが、なんと思いもしなかった全盲の部で、初めて優勝させていただきましてありがとうございます。雨の中、全くナイスショットも無く、足元が悪く何回も泥をかぶりながら奮闘し、本当に長かった18ホールで、疲れてしまいました。

今回の成績はボロボロで、グロスでは、ワースト記録だったと思い、てっきりメーカーだと思っていましたら、思いもかけず優勝と聞いて、一瞬耳を疑いビックリしてしまいました。ダブルペリアでハンディが沢山ついたおかげでした。

今回の大会では、サラリーマン時代にお世話になり、度々一緒にゴルフに行っていた晴眼者二人と、約15年ぶりに一緒にラウンドすることができ、昔の事を思い出しながら楽しい一日でした。



多数の晴眼者の方々も参加され、皆さんも交流を深められたでしょうか。

盛況だったようで、大変良い大会だったとおもいました。

いよいよ春を迎え、ゴルフシーズンとなりましたので、しっかり練習に取り組んで、今年は4月のブラインド大会及び9月の視覚障害者親睦大会に向けてベストスコアで、春・秋連覇できるように頑張りたいと思っております。(笑)

これからも楽しんで、いつまでもゴルフを続けていきたいと思っております。

今後共、よろしくお願ひ致します。

～～そうでしたね、大会当日は雨であちこちに水たまりができていて、ショットを打つたびに泥が

飛び散っていましたよね。

そんな悪天候の中での優勝、おめでとうございます！～～

◆練習ラウンドの成績◆

※練習ラウンドは枚方市のNPO活動応援基金の補助金を活用しています。

※練習ラウンドの成績はアウト、イン、グロスで全盲上位3名及び弱視上位3名の報告とします。

◎第115回練習ラウンド

実施日：平成29年5月17日（水）

参加人数：37名（全盲3名、弱視14名、ボランティア20名）

<全盲クラス>

坂本 信雄 59 64 123

生長 善治郎 73 74 147

今西 誠一 78 78 156

<弱視クラス>

石川 春男 51 46 97

上坂 喜幸 52 50 102

橋本 富雄 52 55 107



◎第116回練習ラウンド

平成29年6月21日（水）に実施予定でしたが、悪天候のため中止となりました。

◎第117回練習ラウンド

実施日：平成29年9月20日（水）

参加人数：47名（全盲5名、弱視18名、ボランティア24名）

<全盲クラス>

木本 敏博 65 70 135

坂本 信雄 67 68 135

生長 善治郎 77 75 152

<弱視クラス>

| | | | |
|-------|----|----|-----|
| 石川 春男 | 47 | 55 | 102 |
| 竹田 武夫 | 51 | 54 | 105 |
| 檜原 隆 | 53 | 55 | 108 |

◎第118回練習ラウンド

実施日：平成29年11月15日（水）

参加人数：45名（全盲4名、弱視17名、ボランティア24名）

<全盲クラス>

| | | | |
|-------|----|----|-----|
| 坂本 信雄 | 67 | 71 | 138 |
| 今西 誠一 | 75 | 63 | 138 |
| 木本 敏博 | 65 | 75 | 140 |

<弱視クラス>

| | | | |
|-------|----|----|-----|
| 石川 春男 | 49 | 55 | 104 |
| 竹田 武夫 | 59 | 53 | 112 |
| 伊藤 米市 | 58 | 55 | 113 |

◎第119回練習ラウンド

実施日：平成30年3月14日（水）

参加人数：38名（全盲3名、弱視15名、ボランティア20名）

<全盲クラス>

| | | | |
|--------|----|----|-----|
| 坂本 信雄 | 66 | 65 | 131 |
| 恵坂 弘昌 | 76 | 82 | 158 |
| 生長 善治郎 | 80 | 84 | 164 |

<弱視クラス>

| | | | |
|-------|----|----|-----|
| 上坂 喜幸 | 48 | 50 | 98 |
| 石川 春男 | 50 | 50 | 100 |
| 伊藤 米市 | 55 | 53 | 108 |

◆2017年ブラインドゴルフ親善大会 in 九州◆

5月15日（月）に福岡県宮若市の若宮ゴルフ場で行われた上記大会にOBGから6名のプレーヤーが参加しました。好天気の中、B2・B3（弱視）部門で檜原隆さんが3位、上坂喜幸さんが7位に入賞され、表彰されました。
檜原さん、上坂さん、おめでとうございます！！

◆OBG忘年会◆

日時：平成29年12月3日（日）12時～15時
場所：京橋・北京料理「大北京」（イオン3F）
参加人数：32名

～～当日は、中華料理店ならではの円卓が4つ。
それを囲んで、美味しいお料理を頂きながら楽しい
会話に花が咲きました。自己紹介タイムには、一年の
ゴルフライフを振り返っての反省や、今後の目標など
…みなさんのゴルフに対する熱い思いをお伺いすることができました。



そして、忘年会に欠かせないのが岡さんのフルート演奏
です。今回も素敵な音色をご披露くださいました。

岡さん、ありがとうございました！

また、その後のカラオケタイムでは、あんな歌や
こんな歌♪♪

みなさんの素晴らしい歌声で大いに盛り上がりました。
もしかして、ゴルフクラブよりマイクを持つほうが
得意だったりして??（笑）～～

◆研修会（特別練習会）◆

◎研修会（OBG特別練習会）

日時：平成30年3月29日（木）
場所：くずはゴルフ場ショートコース（9ホール2回ラウンド）
参加人数：16名（プレーヤー8名、ボランティア8名）

～～ここからは、普段、大正練習会で熱心に練習に取り組まれている徳原さんにコメントを寄せていただきましたので、ご紹介致します。～～

ゴルフなんて…やってみたいけれど一番縁のないものと思っていました。野球の先輩の坂本さんの紹介で半信半疑で参加させていただきました。ハンドボールを使う野球（今はグラウンドソフトボール）を学生時代から続け、振ることは大好きですが、ゴルフクラブはスイングごとにあたり所が違いジャストミート感はまだまだなく、毎回苦戦しています。なかなか大変ですね。

O B Gの会運営の軽快さ、会員の皆様の和やかさ、ボランティアさんのご協力、熱心なご指導に感謝しております。

今63才で、2年前に病院勤務を定年となりました。ゴルフという新しい体験で心がときめいています。はやくラウンドデビューを楽しみにしています。皆様これからも宜しくお願い致します。



徳原貞夫

～～ここまでが徳原さんのコメントです。
徳原さん、練習ラウンドデビューが楽しみですね！～～

～～ここからは、いつもボランティアパートナーとして私たちブラインドプレーヤーを支えて下さっている原田さんのコラムをご紹介致します。～～

筆者と、ゴルフと、O B G。

この文章が皆さんの眼に留まってる頃には、寒さ厳しく長かった冬も過ぎ去り春の象徴である桜の花が咲き誇っているのかな、と ふとそんなことを思いながら、なにげなくガラス越しに外をみると、何時もは目の前に見えるライトに照らされた、ゴルフ練習場の青いネットが見えず、眼に入る光景は降り始めた初雪です。

そう言えば昨日テレビの天気予報では、関西中部地方でも数センチ程度の雪が降ると、笑顔が美人と言われる予報士のお姉さんが言ってるのを思い出した。と 突然「やった、やった、やった、日本中が待ちに待った高梨沙羅選手が悲願の銅です、銅です、銅です」とまるで壊れたラジオの如く喚きまくっているテレビに眼をやると、飛び終わった高梨沙羅選手が可憐な瞳で、今自分が飛んだジャンプ台を見つめている、3位確定をしたその姿は溢れる出る涙を絶対こぼれ落とさない。と

そんなふうに思えました。インタビューを受ける彼女、「ソチ後の4年間は」との問いに感極まったのか、立てたスキー板に顔を隠し、とぎれとぎれの言葉に彼女の4年間の心情が滲みでていた。

4年前1m55cm弱のこの小柄な少女は、世界の名だたる強豪ジャンパーを優しいスマイルでなぎ倒し、女子スキージャンプ53連勝と言う栄冠を胸に、数年間に及び世界の頂点に君臨した。その強さと勢いそのままソチオリンピックに乗り込んだ。地元マスコミは少女の入国を「東国より金来る」と伝えた。その実力はすでに飛ばなくとも、万人が認めるところで金メダル獲得は99%と報じられた。しかし、しかしであるジャンプ決勝戦のその日、スキーの神様は何故か機嫌が悪く、この無敵の少女に、銅、どころか、「まだ早いよ」と言わんばかりに渡したのは4位と言う無色の数字だった。この少女こそ当時17歳の高梨沙羅その人で有った。このことは皆さんもご存知でしょう。

それから4年、ソチでは神様の気ままな仕打ちに合い、正に天国から地獄を味わった少女はその出来事に挫ける事なく、血を吐くような練習と、精進に精進を重ね、乗り込んだピオンチャン五輪、しかし昨年は無冠に終わった少女に、巷には辛らつな言葉も出始めた、そんな重圧をも、小さな背中に背負ながら、ただ1人で挑んだジャンプ・・・・・・・・・・。

結果は銅メダル、金でも銀でも無いので、悔しさもひとしおだと思ふ、この少女の物語はこれで幕が降りたのか、それとも今まさに幕が開き果たして、4年後北京で金を胸に飾ることが出来るのか・・・、それを叶えるのは、機嫌の善し悪しは別としてジャンプの神様のみが知ることだろう。

話は少し横道にそれたので、軌道修正をしゴルフの話に入るとしまししょうか。

野球好きの息子が小3になった時、学童部少年野球部に入部しました。同時にコーチが少ないとの事で学生時代野球をしていた事も有り、筆者もコーチを引き受ける事になりました。平日は6時から1時間の早朝練習、土日は練習と試合の明け暮れ、そんな歳月が数年続きました。

勝っては泣き・・・、負けては泣き・・・酷暑のノックにも負けず・・・、厳寒期のランニングもこなし・・・夏場の合宿、正月の餅付き大会等々、子供達と共に過ごした数々の思い出、この10年間は本当に楽しかったですね。

この頃（昭和58年頃）のゴルフ界は空前のブームでしたね。そのブームを作ったのがハワイアンオープン最終日18番ミラクルショットがカップインして劇的な優勝を飾った、青木功、ジャンボこと尾崎将司、トミーこと中島常幸、この3人でした。この3人の頭文字を組み合わせで「AON」時代と言っていましたよ。特にジャンボ尾崎は、ジェットこと次男の建夫、ジョーこと末弟の直道、兄弟3人で同士で優勝争いも有り人気はダントツでした。その傍らジャンボ軍団としてコングこと

飯合、レフティー羽川、湯原、金井、伊沢、片山、久保谷、金子、等々、当時新進気鋭の若手プロを鍛えあげている風景が、シーズンオフの練習としてテレビ放映されたり、ゴルフ雑誌に載っていました。一方関西では、マムシの異名をもつ杉原輝雄を筆頭に関西3羽ガラスと言われた、山本義隆、前田新作、宮本、等が、関東勢なにするものかと頑張っていました。杉原以外の3人の知名度は低かったですね。

筆者も野球コーチ仲間にゴルフ好きがおり、たまに誘われプレーしていました。自慢では無いのですが良く飛んだのですよ。飛ぶのですがボールの行く先はほとんどOB区域、ラウンド後半になると、用意した20個のボールは全部無くなり、同伴者に借りる有様でした。そんな状態でしたが、たまに真芯に当たった時の爽快感は、なんとも言えないものがありましたね……。ゴルフはこの有様ですからそれほどやる気はなかったですね。

そんな筆者でしたがゴルフに熱が入る出来事が有りました。

40歳になった4月、会社掲示板に「社長の長男が プロゴルファーデビュー」の内容でした。その数日後、上司でゴルフ好きの専務が「社長の意向で、ゴルフ部創るので手伝え」との命令でした。当時筆者もコーチが幾分しんどくなりつつ有りましたので、これを機会に学童部少年野球部コーチを退部しました。

そして社内ゴルフ部設立に参加しました。秋には社内の空き地に、奥行き10m、幅10m、5打席のミニ打撃練習場（立派な練習場と思われそうですが、実際は雑草だらけのオンボロでした）も造りました。練習場が出来た事でゴルフが随分身近に感じる様になったのは事実です。部員は20名弱、専務を除くと筆者の年齢は上から2番目、平均年齢は35歳前後、女性も5名、当然40歳の筆者はオジンですよ。当時は現在のように土曜全休と違い午前中仕事で、午後からお休みと言う「半ドン」制度でした。土曜の午後ゴルフが出来る練習場も有り、社内のゴルフ熱が急激に高まりました。練習場には常に10人前後が集まり、ああでも無い、こうでも無い、ワイワイガヤガヤと賑やかさと共に練習に励みました。ゴルフ練習に関して会社は仕事に支障が出ない限りクラブ任せでした。但し仕事に支障が出るようなことが有れば即除名の規約は設けました。とにかく練習場は5打席なので何時も満席状態になり使用時間制限を設けることも有りました。筆者は営業でしたので、お昼は社外、仕事後は「飲にケイション」も有り練習は余り出来ませんでした。半年も過ぎる頃にはゴルフが面白く成りました。なにが面白いかというと、思うように行かない事が面白いんですよ……。

そんな訳でなんとか練習時間確保をと考えた末、仕事開始は9時でしたので仕事前の早朝6時半から練習です。早起きはコーチ時も5時起きでしたから苦痛には感じませんでした。シーズンオフに成ると「我がプロ」が友達を連れて現われレッスンを受ける事もしばしば有りました。そんな時

代が2～3年続いたでしょうか、我がプロも頑張り一步一步ですがトーナメントに出場する機会も増え、決勝ラウンドに時々ですが残るようになると、テレビにも顔を出すようになりました。社内では我がプロが出る試合は毎回社内掲示板に出ますので全社上げての応援でした。この頃、関西地区で行われるトーナメントは良く行きましたね。読売カントリー、山の原GC、ライオンズGC、小野東洋GC、茨木カンツリー等々です。トーナメントで我がプロが予選ラウンド(金)に残ると、当日18時頃に大会本部から、土曜日の組み合わせと、スタート時間が発表されます。決勝ラウンド初日(土)も同じように18時頃決勝ラウンド(日)の組み合わせ、と、スタート時間が発表されます。日曜日の決勝ラウンドには朝早くから応援部員数名が乗り合いで会場に行き、試合前プロの練習を見るのが楽しみでした。唸るドライバー、小気味のいいアイアイン、光るアプローチ、等々、最後はパターの練習を長い間見てましたね。

そうこうしていると専務が来て、応援部員全員に「ファミリーカード」の配布です。ご存知でしょうが、トーナメント開催中関係者以外はクラブハウスには入れません。なので一般客はトイレや食事は仮設場所での利用に成ります。しかし「ファミリーカード」が有れば大きな顔してクラブハウスに入ることが出来るのです。

「ファミリーカード」を受け取ると、集合時間を決めて後は自由行動、打撃練習を見る者、パター練習場に行く者、好きなプロを追う者、我がプロのスタート時には全応援部員がティーグラウンドに集まり、同伴プロのドライバーショットも併せてその凄さにただただ「ウォー」の連発でした。筆者も本音は加瀬秀樹プロの練習を見たいのですが、そうも行かず専務と我がプロについてスタートです。

全ホール付いての応援は大変なんです。プロ、キャアディー、スコアラー、キャリングボード持ち等々はフェアウエーを歩けますが、ギャラリーはロープの外を歩きますので時間は掛かります。なのでコースレイアウトを確認しながら、ところどころホールをショートカットして付いて回ったものです。他にも最終18番ギャラリースタンドで一日中座りながら、果敢にグリーンに乗せるプロに拍手喝采、そんな観戦も有り、目的次第でそれぞれの観戦方法が違いいろいろ楽しんだものです。

時の流れは速く、我がプロがデビューして早や20年、プロの道は厳しく棘の道みたいでしたね。ゴルフ部員が毎回は応援しましたが、応援の仕方が足りなかったのか小さな大会での優勝は数回有りました。しかし公式戦で優勝トロフィーを抱く勇姿は適いませんでしたが、今でも自分の夢を叶える為シニアでがんばっています。

そんな筆者も定年から嘱託で7年勤め、67歳で完全リタイヤーしました。

O B Gとの関わりはたしか5年前でしたか、市公報に視覚障害者ゴルフパートナー募集の記事でした。記事を見た時何かの間違いではと思いました。なぜなら、晴眼で有る我々が上手く行かないのに・・・と言う疑問と、どんな練習なのかと言う好奇心でした。ゴルフアベニューで皆さんの練習風景を最初にみた時は、正直言葉ではどう表したらよいのか分かりませんでした。それ程筆者にとっては衝撃が大きかったですね。それはボールが飛ぶ飛ばないではなく、額に汗を滲ませながらコーチ（パートナーさん）の方々の言うことを聞きながら、クラブを振るその真摯な姿でした。その姿を見ながら思ったのは、晴眼の我々でも上手く打てないのに、この人たちは障害が有っても怯むことなく頑張っている。本当にゴルフが好きな方々だと。比べて 晴眼のお前の練習は真剣か と自分自身に問いかけたものです。まあそんな訳で、好きなゴルフでお役に立てるならと、言うより自分の戒めも含めてですが、入部をお願いしました。以後は皆さんと共に 練習、練習ラウンド、親睦ゴルフ大会、等々喜びも苦しみも共に味わいながら今日に至っています。

そんな私が5年間で感じたことですが、ゴルフは楽しく が大事です。そんな余裕は無いと言う方もいますが、思うように行かないのがゴルフだから、なおさらご自分に言い聞かせるのですよ。楽しくやろう と、そうすると楽しくないことも楽しく成り、楽しいと思う心が、体内血液の巡りが良くなり体の筋肉をほぐし、肩の力を抜くことに繋がり良いショットに現れます。要は心の持ち方なんです。楽しむことでスコアが良く成れば、もっとゴルフが楽しく成りますよ。もう一つ、感じたことですが、皆さんはパートナーに対して、もっと遠慮なく思ってる事をお尋ね下さいと言う事ですね。パートナーの我々晴眼者は周囲が見えるのでついつい、言葉で伝えるのが疎かに成りがちの部分がありますので（私だけかもしれませんが・・・）何でも結構ですから、この事を心に留め置き頂ければ幸いです。

筆者も昨年10月で後期高齢者の仲間入りをしました。

O B Gのお手伝いですが、何時まで来るのか、もういい加減に辞めてくれ、と言われる迄・・・、体が続く限り続けたいと思っています。当面は80歳が目標です。

それまで、残り5年程ですが、皆さんお付き合い宜しくお願い致します。

さあ、これから 練習に行くとしますか。楽しむ心を忘れずに、

O B Gパートナー 原田 義一

～～原田さん、貴重なお話をご披露いただき、ありがとうございます！

原田さんがおっしゃる通り、まずは楽しむことが大事ですね。

調子が悪くて、それどころではないこともしばしばですが、楽しむ気持ちを忘れずにゴルフと向き合っていきたいと思います。～～

◆編集後記◆

みなさま、こんにちは～♪♪

今回「かわらばん No.40」の編集を担当させていただきました曾余田です。

最後までお読みいただき、ありがとうございました！

今回は、会員の中から4名の方々にコメントを寄せていただきました。

丸谷さん、木本さん、徳原さん、原田さん、ご協力いただき、どうもありがとうございました！

また、編集作業にあたりましては、鎌田さんに細やかな確認作業をしていただきました。

鎌田さん、ありがとうございました！

私自身、「かわらばん」を通して一年間のOBGの活動を楽しく振り返ることが

できました。振り返ってみると、嬉しかったこと、悔しかったこと…

たくさんの貴重な体験ができたことに、改めて感謝の思いでいっぱいになりました。

次回の「かわらばん」も充実した内容をお届けできますように、役員一同頑張っ

てまいりますので、みなさま、どうぞよろしくお願い致します。

《完》

私たちと一緒にゴルフを楽しみませんか！

＜ボランティア会員募集＞

視覚障害者がブラインドゴルフを楽しむためのパートナーを募集しています。

☆練習場でのお手伝いと、ラウンドの際にゴルファーの目の役割として同伴をお願いします。

☆練習は大阪市と枚方市の2か所で、それぞれ月2回ずつ実施しています。

☆ラウンドは主にくずはゴルフ場で年6回(夏場、冬場は除く)行っています。

☆ボランティア会員の年会費は2,000円です。(ボランティア活動保険加入費は協会が負担)



＜ブラインド会員募集＞

白杖をクラブに持ち替えてゴルフを楽しみましょう。

自然の風を感じながら、広々とした芝生の上を歩くのは、

最高に気持ち良いものです。

☆静止しているボールを打つゴルフは、視覚障害者に適したスポーツです。

☆ゴルフの経験がない方も安心して練習から始めることができます。

☆ブラインド会員の年会費は3,000円です。(別途スポーツ保険料が必要)



＜賛助会員(個人・法人・団体)募集＞

協会の趣旨に賛同して下さる個人・法人・団体の入会をお待ちしています。

☆個人賛助会員の年会費は1口1,000円です。

☆法人・団体賛助会員の年会費は1口10,000円です。



～NPO法人 大阪視覚障害ゴルファーズ協会～

私たちは、視覚障害者とそれを支援するボランティアパートナーが、二人三脚でブラインドゴルフに挑戦し、相互の友情と信頼を深めつつ、視覚障害者に対する正しい理解を社会に広め、視覚障害者の自立、社会参加、QOL(生活の質)の向上に寄与することを目的としています。

事務局 〒536-0008 大阪市城東区関目 2-9-18 (橋本方)
電話:090-4303-3380
E-mail:info-obg@freeml.com
ホームページ:http://obg.sports.coocan.jp/